

第 6 0 回加西市公共交通活性化協議会 協議結果

■第 6 0 回加西市公共交通活性化協議会の開催状況

○開催日程

令和 8 年 6 月 2 3 日（火） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

○開催場所

加西市民会館 3 階 小ホール

○協議参加者

1 8 名（委員 1 6 名 オブザーバー 2 名）

■協議結果

○協議事項 1 「加西市地域公共交通計画の令和 7 年度実施状況の確認について」

全会一致により承認

○協議事項 2 「令和 7 年度事業報告及び収支決算」

全会一致により承認

○協議事項 3 「令和 8 年度事業計画及び収支予算（案）」

全会一致により承認

○協議事項 4 「令和 8 年度地域公共交通計画（地域間幹線系統）の変更について」

全会一致により承認

○協議事項 5 「令和 9 年度地域公共交通計画認定申請について」

全会一致により承認

○協議事項 6 「加西市地域公共交通計画の次期計画の策定スケジュールについて」

全会一致により承認

■会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
(議長) (A オブザーバー) (事務局) (A オブザーバー) (B 委員) (C 委員)	1 開会 2 協議事項 (1) 加西市地域公共交通計画の令和7年度実施状況の確認について（資料1） （事務局より資料説明） ・通勤者が公共交通を利用しているということがとても大事である。公共交通が通勤を支えているだけでなく、雇用を支えているということになる。雇用が広がることにより、地域の経済循環が広がることにも繋がるため、今後も継続して利用してもらえよう検討していくことが重要である。 ・北条鉄道の ICOCA 導入により、利用者の乗降が円滑になるほか、鉄道会社にとっても紙券処理の負担軽減やデータ分析の効果が期待できる。加西南産業団地の通勤利用は網引駅で増えているのか。 ・網引駅からの利用が増えていると思われる。資料 1-2 の最終頁に北条鉄道の乗車人数の推移を示しており、通勤定期が伸びていることが分かる。 ・加西南産業団地方面への通勤需要が伸びているのであれば、網引駅から加西南産業団地までのアクセスについて、企業との連携や利用者アンケートを通じて、通勤しやすい仕組みを検討してはどうか。これにより、加西南産業団地が送迎バスを運行しているならば、その負担軽減にもつながる可能性がある。 ・現行計画では、基本理念に対して数値目標が設定されているが、何を目的としているのかが分かりにくい。例えば、通勤、通院、買物など目的別に、誰のどのような移動を改善するのかを明確にし、それぞれに応じた目標や施策を設定した方が、次期計画策定時に分かりやすくなるのではないかな。 ・10 年前から協議会に参加しているが、10 年前から進歩がなく、何も変わっていないように思える。10 年前ははっぴーバスが運行され始めた頃であり、運行当初、北条のまちなかへの乗り入れを要望したが、バス事業者からの反対により実現できなかった。幹線道路は、路線バスやねっぴ〜号によりある程度カバーできているが、生活道路はカバーできていないため、北条のまちなかへの乗り入れを改めて希望する。高齢者が買物や通院で荷物を持って歩くのは負担が大きい。下里地区や九会地区では、北条鉄道沿線であっても、駅から 1 ～ 2 km 離れた地区では公共交通が利用しにくい。小型車両でもよいので、各町内に巡回するような交通システムを考えてほしい。また、高齢者のタクシー半額助成制度が始まったことは 1 つの変化であるが、市内中心部から離れた地域では、タクシーを呼んでも来てもらいにくく、制度を使えないまま終わるという声もある。周辺地域では

(事務局)	制度の活用が難しいという苦情も区長会に届いている。 次期計画では、現行計画の立て方や指標の見せ方についても再検討したい。新中学校や新病院の整備により人の流れが変わり、人口減少も進む中で、従来どおりのバス運行だけでは難しい面がある。地域の実情に応じて、どのような交通網が望ましいかを委員の皆様と一緒に考えていきたい。
(議長)	全てを1度に解決することは難しいが、少しずつ積み上げていき、誰もが動きやすいまちをつくることが重要である。次期計画においても、委員の知恵と協力を得ながら検討していきたい。
(議長)	加西市地域公共交通計画の令和7年度実施状況の確認について、協議が整ったことで承認頂けるか。
(全員)	異議なし
(2) 令和7年度事業報告及び収支決算（資料2） （事務局より資料説明）	
(議長)	令和7年度事業報告及び収支決算について、協議が整ったことで承認いただけるか。
(全員)	異議なし
(3) 令和8年度事業計画及び収支予算（案）（資料3） （事務局より資料説明）	
(議長)	令和8年度事業計画及び収支予算（案）について、協議が整ったことで承認頂けるか。
(全員)	異議なし
(4) 令和8年度地域公共交通計画（地域間幹線系統）の変更について（資料4） （事務局より資料説明）	
(議長)	令和8年度地域公共交通計画（地域間幹線系統）の変更について、協議が整ったことで承認頂けるか。
(全員)	異議なし
(5) 令和9年度地域公共交通計画認定申請について（資料5） （事務局より資料説明）	
(議長)	資料5-2のp.3に示す「コミュニティバス等の乗車人員及び人口推移」を見ると、加西市の人口は減少している一方で、コミュニティバス等の利用者数は2010年頃に底を打った後、徐々に回復している。これは、公共交通サービスを増やす

	と、利用者が増えた結果であり、潜在的に公共交通を利用したい人がいることを示している。引き続き利用しやすいサービスの充実を図ることが重要である。
(議長)	・ 令和 9 年度地域公共交通計画認定申請について、協議が整ったことで承認いただけるか。
(全員)	・ 異議なし
	(6) 加西市地域公共交通計画の次期計画の策定スケジュールについて (資料 6) (事務局より資料説明)
(D 委員)	・ 計画策定においては、コミュニティバス・路線バス利用者アンケートだけでなく、市民全体、企業、バス運転手など、これまでとは異なる視点からの調査も必要ではないか。これらの調査結果が次期計画に大きく影響するため、調査対象や調査内容をよく検討する必要がある。
(事務局)	・ 令和 9 年度に実施するアンケートにおいて、企業や産業団地の通勤者、バス運転手等の視点も取り入れるよう検討する。特に市内には産業団地が複数あり、通勤需要が増えていることから、現行計画に欠けている視点を把握できるようにしたい。
(議長)	・ 令和 8 年度に予定している利用者アンケートと令和 9 年度の各種アンケートで内容が重複しないよう、調査設計を精査し、聞き漏らしがないようにする必要がある。
(B 委員)	・ 従来の路線バスは都市間を結び、途中の集落で人を拾う考え方であったが、現在議論しているのは、車の利便性を知っている人が車を利用できなくなってくる中で、タクシーのようなドア・ツー・ドアに近い移動を求められており、公共交通をどこまでこの形に近づけられるかということである。次期計画では「みんなが使いやすい」という抽象的な目標だけでなく、学校、病院、産業団地など、優先順位を付けた上で、目的別にニーズを整理して施策を立てるべきである。 ・ また、公共交通関連の一般会計支出が約 2 億 3 千万円ある一方で、協議会予算として改善に使える事業費は 700～800 万円程度に見える。現状の課題を改善していくには、この予算規模で十分なのか疑問がある。予算の組み方や改善投資の確保についても検討すべきである。
(事務局)	・ 次期計画では、理念は全体を対象にしつつも、具体的な施策や事業については、ターゲットを絞った事業を検討する。予算面については、市一般会計と協議会予算の役割分担が分かりにくい面があるため、今後、委員に分かりやすく示すよう整理したい。次期計画策定に必要な予算については、市財政部局とも協議し、より良い交通計画を作るための予算確保に努めたい。
(議長)	・ 加西市内で車を気軽に使えない人は、高齢者だけでなく高校生等も含めて 23%

(E 委員) (議長) (議長) (全員) (議長) (F 委員)	存在しており、この車を気軽に使えない人たちが移動に困っているため、この人たちの移動手段確保を優先して検討していくべきである。この人たちが動きやすい社会を作るとは、車を利用している人にとっても暮らしやすい社会につながる。全てを一度に実現するのは難しいため、限られた予算と人材を組み合わせ、優先順位を持って進めることが計画の役割である。 ・また、送迎負担も大きな課題である。家族送迎には、送迎する側、とりわけ主婦層の就労や生活時間を圧迫するとともに、送迎される側も外出を遠慮することがある。このような移動を公共交通で外出しやすい仕組み作りをすることが重要である。 ・移動手段が必要な方に対して、この会議が十分に応えられているかを考える必要がある。加西病院で対応できない専門分野については、北播磨総合医療センター、西脇病院、加古川市、姫路市方面などの市外医療機関への移動が必要となるが、帰りの移動手段がないという声がある。タクシーはドア・ツー・ドアの移動手段として重要であるが、市内の供給が十分でなく、タクシーの半額助成も上限 2,000 円では遠方医療機関への移動に対して十分とは言えない。 ・医療・福祉の移動支援と公共交通政策が重なる部分があるため、どこまでを公共交通政策として扱うかを切り分けて整理する必要がある。庁内で医療・福祉施策と公共交通施策をうまく組み合わせ、公共交通側で担うべき部分があれば本協議会で議論することになる。 ・加西市地域公共交通計画の次期計画の策定スケジュールについて、協議が整ったことで承認頂けるか。 ・異議なし 3 報告事項 (1) 宇仁ふれあいバスの運行日数の見直しについて（資料 7） （事務局より資料説明） ・意見、質問なし。 (2) 令和 8 年度北条鉄道車両整備計画について（資料 8） （F 委員より資料説明） ・新車両導入費用が 1 億 6,500 万円ということは、1 両あたり約 5,500 万円ということか。 ・車両本体価格は 1 両約 500 万円であるが、秋田からの輸送費が 1 両約 700 万円、車両改造費が約 4,000 万円かかる。この車両は、JR 東日本で現在も多数運行さ
---	---

